

地層処分技術の信頼性向上に向けた取組

幌延深地層研究センターと東濃地科学センターでは、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術の信頼性向上のための研究開発を行っています。

詳しくはこちら



幌延深地層研究センター

- ✓令和5年2月より、**幌延国際共同プロジェクト**を開始
- ✓地下施設を活用して国内外の学生を対象とした**技術研修**を実施する等技術者の育成への取組

【幌延国際共同プロジェクト (Horonobe International Project; HIP)】

- 幌延深地層研究センターをアジア地域の地層処分に関わる国際研究開発拠点として活用
- 地下施設を利用した研究開発を国内外の機関で協力しながら推進

【参加機関の国・地域】(令和5年7月署名完了)



ドイツ



イギリス



オーストラリア



台湾



韓国



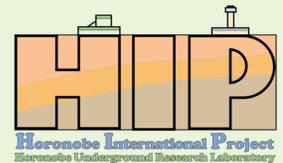
ルーマニア



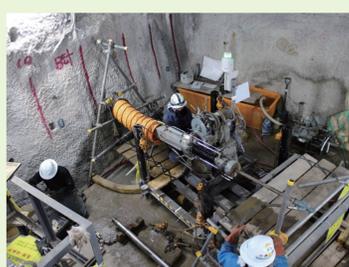
ブルガリア



日本



幌延国際共同プロジェクト 第1回管理委員会の開催
(R5.4.11 ~ 12; フランス)



物質移行試験のためのボーリング孔掘削
(深度 250m 調査坑道)



韓国ソウル国立大学の学生を対象とした技術研修
(R5.7.24 ~ 27; 幌延)

詳しくはこちら

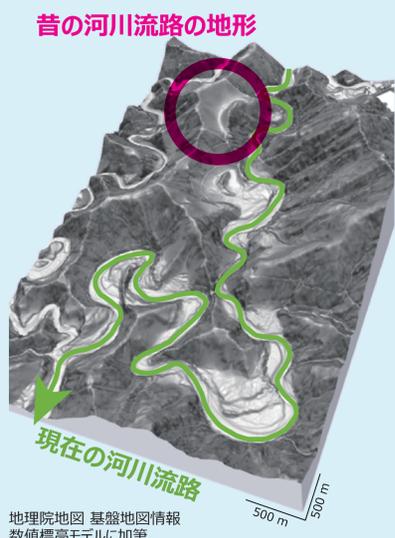


東濃地科学センター

岐阜県土岐市の土岐地球年代学研究所で、**地質環境の長期安定性に関する研究**を推進

将来の地形を予測する手法の開発

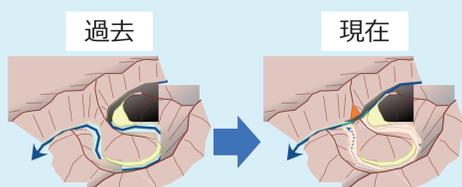
過去の河成地形に基づく隆起速度の推定技術



地理院地図 基盤地図情報
数値標高モデルに加筆

過去と現在の河川流路の「年代」等に基づく
隆起速度の推定

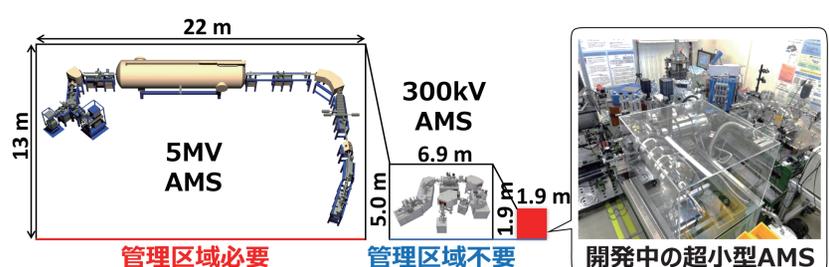
「昔の河川堆積物を年代測定」
過去から現在の地形変化を知る
↓
現在から将来の地形変化が
予測可能！



昔の河川流路の地形や堆積物から、
過去から現在までの地形変化や年代を把握

超小型年代測定装置の開発

宇宙や医療、産業、考古学等にも貢献



同じ重量の分子を解離する新技术を用いた
炭素 14 専用超小型 AMS の開発

地層処分研究開発だけでなく、様々な分野に貢献可能

